

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272501453		
法人名	有限会社新堂企画		
事業所名	グループホームひまわり苑上北		
所在地 (電話番号)	〒039-2402 青森県上北郡東北町大浦字菅林116番地1 (電話) 0176-56-3778		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 11月 12日	評価確定日	平成 20年 1月 15日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 22日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	10人, 非常勤 4人, 常勤換算 13人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	19,500 円	その他の経費(月額)	7,050 ~ 冬季13,050 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 950円		

### (4) 利用者の概要( 10月 22日現在)

利用者人数	16 名	男性	7 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82 歳	最低	75 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	工藤医院・かみきたデンタルクリニック
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホーム内は利用者が作った装飾品できれいに飾られており生き生きとした生活の息吹を感じる。ホールからつながったテラスがあり、園庭には畑もありゆったりとした時間を過ごせる場所がある。職員は、常に理念を念頭に置きながら一日一日を大切にしながら笑顔で暮らしていけるよう支援している。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で指摘された点については職員ときちんと話し合いを持ち、共有がなされている。改善できなかった点についても前向きな姿勢がみられている</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価に対し、職員と管理者の間できちんと話し合いが行われている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>グループホームの理念や、事業所としての説明を行い、グループホームについて知ってもらう為の働きかけがなされている。又、認知症についての症状や対応の仕方、事例発表や行事への参加を促したりと多岐にわたっている。メンバーは多方面から参加しており活発に意見交換されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>意見箱は設置されているがあまり使われておらず、家族からの苦情や要望は、直接職員に話せるように働きかけや声掛けをおこない、話しやすい環境を作っている。もらった意見に関しては職員間で話し合いの場を持ち取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>広報誌を作成し地域や役所へ配布したり、お祭りや小学校の学習発表会に参加して地域との関わりがみられている。また近所への散歩や畑の散策に出かけたときは気軽に近隣の方と交流がもたれている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型のサービスとしての理念が明確に示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員一人ひとりがきちんと理解している。また、忘れないようにネームプレートに理念を書いた紙をいれている。毎朝のミーティングでも唱和しており理念を基本に援助することを心掛けている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	ホームの行事で地域の付き合いもあり、その他に近隣の散歩に出かけたときや畑の散策の時も気軽に話ができる環境にある。老人クラブや町内会との関係も良好である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価からの話し合いが持たれており、改善にも前向きである。今回の自己評価の取り組みに対しては、職員と話し合いが行われている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームの理念や、事業所についての説明を行っており、さらに認知症についての症状や対応について話し合いを行っている。メンバーは多方面から参加し、活発に意見交換されている。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の場での出席はもちろんのこと、行事にも参加されている。また、感染症の情報の共有や意見交換も行われている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度についての研修に参加し、研修後はミーティング等とおして他職員への周知を図っている。現在利用している方はいないが、役所から制度についての情報をもらうなどして利用者家族と権利擁護や成年後見人について話し合う機会をもっている。		
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加した職員が、会議の場などで報告する機会を持っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>時間をかけてきちんと話し合いを持ち納得してもらっている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月に一回のお便りによる報告や、面会時に近況報告をおこなっている。あまり面会にこられない方に対しては電話による定期的な報告が行われている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの苦情や要望は、主に直接職員に話せるような働きかけや声掛けをおこなっている。もらった意見に関しては話し合いの場を持ち取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット内での異動はあるが、普段からコミュニケーションをとり、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。新しい職員へは教育を実施し、対応がスムーズに行えるようにしている。又、家族への紹介も行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の報告に関しては月に1度のミーティングで報告を行っている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の懇親会での交流がある。職員には、研修会への参加等により、他施設職員との交流を持つよう勧めており、職員も情報交換を行っている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前に自宅へ訪問し、会話をもち、コミュニケーションを図っている。又、家族と共に見学に来てもらい、雰囲気に慣れてもらえるようすすめている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>時間にゆとりを持ちながら、お互いに会話でのコミュニケーションをとり共に生活している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中から一人ひとりの思いを聞き出し、希望や意向の把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一回のカンファレンスを持ち介護計画の遂行に努めている。家族の意見も取り入れている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的なカンファレンスの他に状態に変化があったとき等に都度見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	近隣の住民からの介護相談や介護の不安についての助言を行ったり、役所へ相談している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医院での受診が主であるが、かかりつけ医との連携もあり納得の上で受診できるようにしている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>職員、家族が重度化や終末期に向けて話し合っている。職員同士でも情報を共有し同じ対応が出来るようにしている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報や記録管理についてはもちろんプライバシーの管理も行っている。日々のケアについても職員間で注意しあい、プライバシーの確保に努めている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの生活歴に配慮し、ペースに合わせて援助を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>手伝っていただける方には準備と片付けを行ってもらい食事作りに参加してもらっている。一人ひとりの好みや状態に合わせた食事を提供できるようにしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>決められた入浴日はあるが、希望の日に入浴できるような支援体制を整えており対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>趣味、特技を活かした活動ができるように支援している。習字、パッチワーク等の他、季節に合わせて畑仕事や草取りなど趣味活動は多岐にわたっている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物支援や、ドライブ等行っている。気分転換に散歩などの外出支援も日常的におこなわれている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>現状身体拘束をしている利用者は無い。職員にも身体拘束に関しての教育は日常業務の中で指導している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員間で徘徊者に対する注意は行っているが、鍵は施錠している。</p>		<p>鍵を掛ける弊害を職員間で理解しあいながら、可能な限り鍵を掛けない工夫を考えて取り組むことを期待します。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防訓練は年2回行なっている。利用者も参加した避難訓練の実施に努めている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取量の確認は一緒に食べている職員が確認し、夜勤者にも引き継げるようにしている。食事チェック表にも記載している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>普段から手指消毒は励行している。食べ物の管理に関しても外部からの持ち込みなどについてはきちんと管理している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	趣味活動で作った装飾品や小物などがホールやカウンターにさりげなく飾ってあり良い演出になっている。リラックスできる空間作りに配慮している。安全に配慮した照明の工夫がされており夜間も足元が暗くならない工夫がされている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具の配置は各自が使いやすいように配慮されており、綺麗に整理整頓されている。		

 は、重点項目。